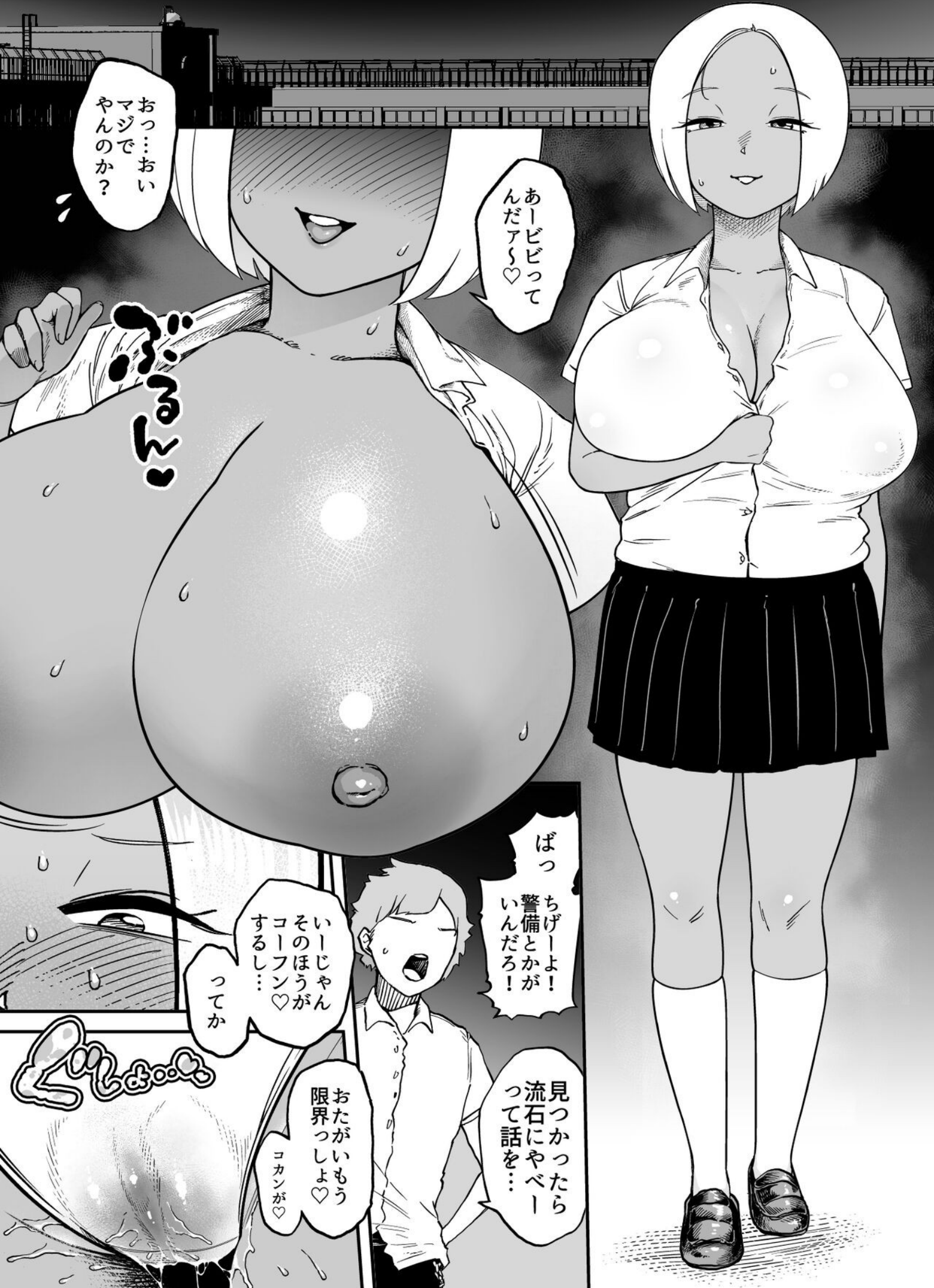






おっ…おい
マジで
やんのか？

あービビって
んだア♡♡

びびるん

ばっ

ちげーよ！
警備とかが
いんだろ！

いーじゃん
そのほうが
コーフン♡
するし…

ってか

おたがいもう
限界っしょ♡

コカンが♡

見つかったら
流石にやべー
って話を…

ぐわんぐわん









っぱトシキの
チンポ最高♡

太くて熱くて
精液たっぷり♡

はぁ〜♡
はぁ〜♡

あれ…
トシキ？
ちよつと…
どこ行つた
のよ？

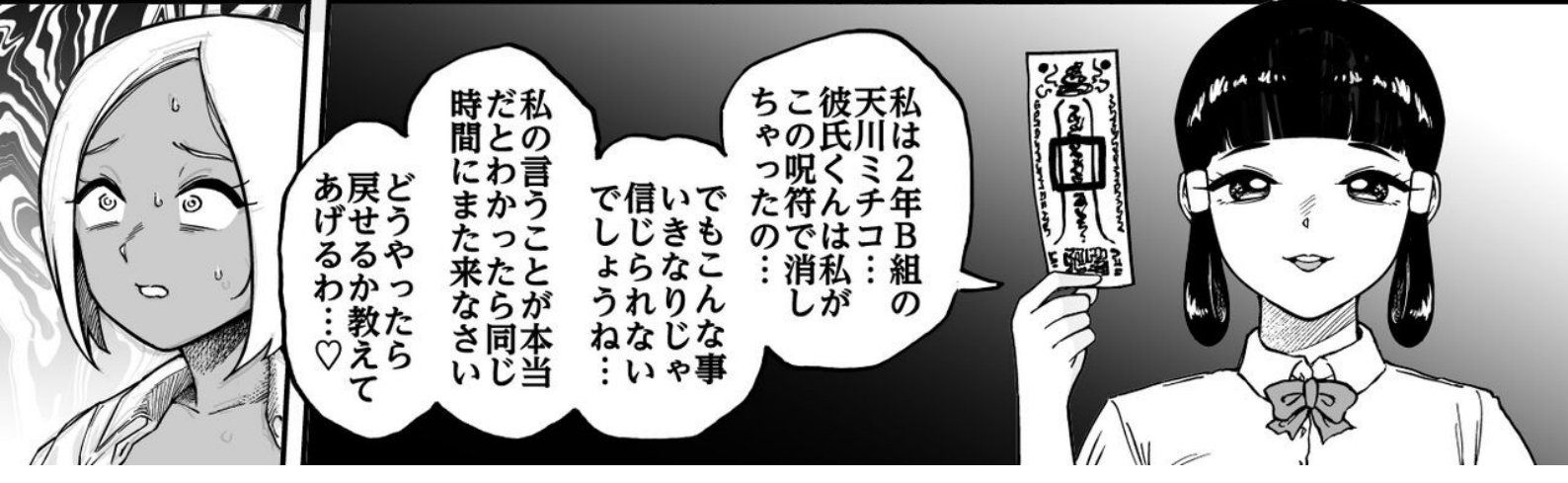
え…いや
てかさつき
までここで
突っ込んで
たのに…

彼氏なら
見つから
ないわよ

!?
だれ!?

ふふっ…
元気ねえ…

さっきまで
あんなに激しく
ハッスルしてた
のに♡



私は2年B組の
天川ミチコ…
彼氏くんは私が
この呪符で消し
ちゃったの…

でもこんな事
いきなりじゃ
信じられない
でしょうね…

私の言うことが本当
だとわかったら同じ
時間にまた来なさい
どうやったら
戻せるか教えて
あげるわ…♡

それから3日
経ってもトシキは
戻ってこなかった

学校では
神隠しとか
噂が流れて

私はまた夜の
学校であの女
と会った！

すると

トシキを返す
代わりに妙な
条件を出された

指定された場所
で指定された
衣装に着替えて

指定された！
あるモノを用意
して持ち帰る

そうつまり
わっ私の！

うっ
んふう！！

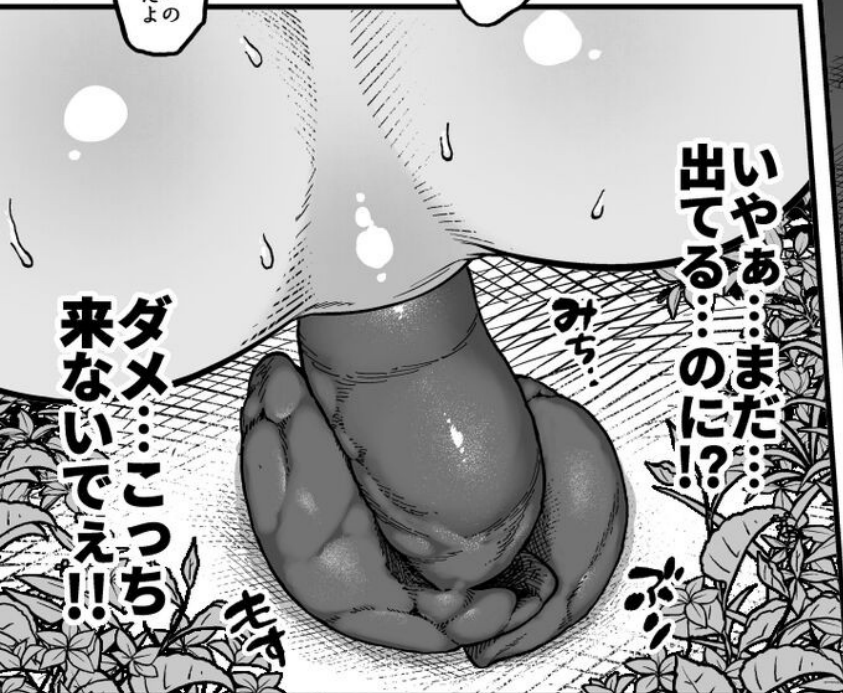


ウンチを…

なあほんとに
エロ本ここに
あったのか？

マジだつて！
何冊も捨てて
あったんだよ

ほんとにかよ
うどこにもない
じゃんから





「えーてかミカ
知ってるー？
ヨシミ達さー…」
うっ…んん!!
うそ…こんな…
友達の前なのに…
わたし…っ!?



うっ…あっ
待って…

おっおしっこ…
出そう…ダメ!!
がっ我慢…して…

「あっ…ミカ!!」

——ッ!?





ドドドド

「わあー花火！
すごいよミカ!!」

「あっ…うん…
ごめん…今お腹
痛くて…」

なんとかかバレずに
ごまかし通した

えわ..

ぽんぽん..



排泄量と回数が日を
重ねるごとに増えて
いった8月のある晩
私はとうとう：

すー
すー



今でも覚えているその夢：
暖かい泥風呂：天然の温泉
に裸で浸かっていると急に
襲ってくる便意 必死に抵抗
するけど徐々に力尽きて







グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

ん
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

ん
ん
ん

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

ん
ん
ん

暖かい泥の中で思い切り
排泄物を解放しまさに
夢見心地の快楽のなかを
私の意識は彷徨いました

がそれも現実
に帰還するまでの
わずかな間でした

ブルブル

あははは

グニグニ

きゅん

じゅま

おん



とりあえず30分ほど
オナってから一晩
かけて片付けた！

ハア！！

イッ
ク

え

ん…
むにや…
スシ

スシ…
…





便を持ってくる際は
透明な中身の隠れない
バッグを使うよう指示
され、その異様と臭気が
さらに私を苛みます…

毎晩私を夜の学校に呼び出し
これを受けとる彼女の目的は
なんだったのか…不信や疑問
により私は抑えようのない欲求
に従うので精一杯でした…



ふふ…あなたのだ…
すごく質がいいわ
ね…クスクス
多分次が最後に
なると思います
協力ありがとう

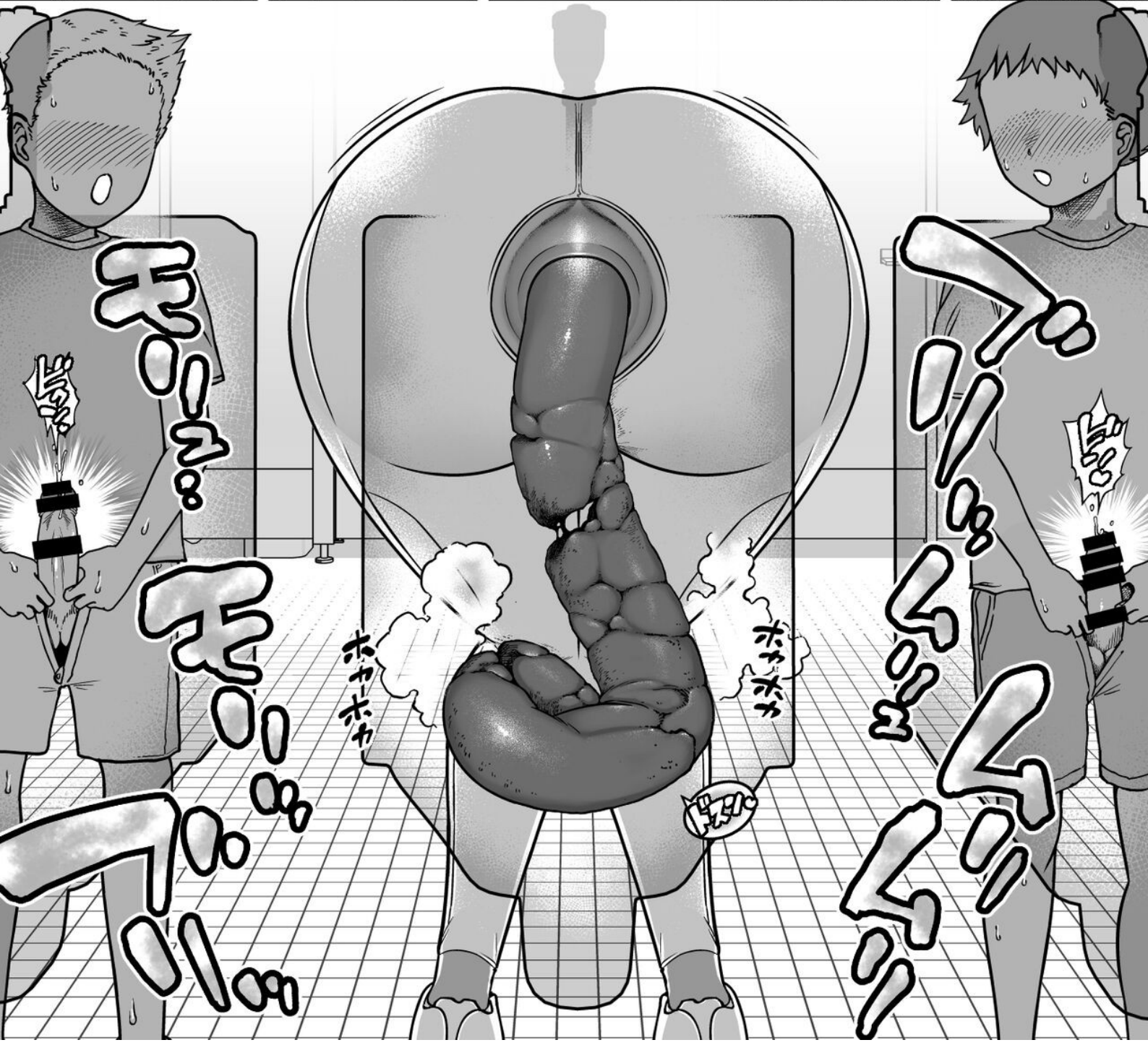


おっお好き
ってなに…
意味わかん
ない…!!
ホントにこれ
で最後にし
てくれるの
よね

ちゃんとトシキも
もとに戻してくれ
るんでしょね!?

ええ…
もちろん
戻すわ…
そっ…
はね…









オラツイケツ!!
いっちやえ!!

もう一人の子はすぐ
へばっちゃったのに
粘るじゃんキミ!

ふふっ...よし
お姉さんの本気し
見せてあげる♡

うああああッ?
やめろっやめろよ!
おおっああ!!

は

は

は

はあ

んっ♡

ズ
ズ
ズ

B...

うっ...ごほ
くっせく!?ほ

うふふふ♡
そんなこと言っ
さつきの私がおし
したの見てビシ
にしたらだから♪

はあーい♡
いまから変態の
マセガキコンに
ホセトヨコす
プレゼント♡
しちゃいます♡

なっ...ナニ
する気だ!?
やっやめ...
やめ...でめ...

うっふうっ
キタキタあ♡♡
小○生の性癖
捻じ曲げちゃう
エログソ爆弾♡

もう一生女の子
のウーチでしか
興奮できない体
にしたい♡

さあ…♡
性癖破壊まで
3:2:1…

あっ…あぁ
や…めっ…
おっ…
なっ…
俺…
んか







ゴッゴッ
パッパッ
はま... はま...

はま... はま...

ゴッゴッ
パッパッ

あはあ♡
はま... はま...

ゴッゴッ
パッパッ

おっす

あつトシキ!!
なんだお前!!

死んだって
聞いてたぜ

バカ誰も
死んじゃあ
いねえよw

なにがあつたか
俺もよく覚えて
ねえけどな!

彼女に最後の「奉納」
をした後トシキは
戻ってきた…でも

後で調べると学校に
「天川」という生徒は
いないとわかった

あの夏に起きたこと
は何だったのか…

夜の学校でしか
会えなかった彼女は
一体何者だったのか

ミカ! !
学食行こ!!

これだけは
わかる…

うんっ…

いま…
イク♡

私がもう
戻れないこと
だけは…